

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17003	亀山駅周辺整備事業		課名	都市整備課 亀山駅前整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務 科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	02:活力ある市街地の形成			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		01:都市計画総務費	
事業予定期間	H 28 ~ R 4 年度	主な根拠法令要綱等		都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法		

目的 概要	対象	市民
	目的	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。
概要	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。	

事業の計画・実績	年度計画	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		年度実績	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(除却・解体) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) 市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 駐輪場整備事業 ・用地買収 亀山駅周辺まち協支援業務	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事等) ・補償(電柱移転) 市道御幸7号線道路整備事業 ・用地買収、建物等補償 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・用地買収、補償算定 亀山駅周辺まち協支援業務 ○費用便益分析業務	2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](工事) ○駅前広場整備事業 ・工事(シェルター、案内板等) 市道御幸7号線道路整備事業 ・工事、用地買収、建物等補償 市道御幸1・6号線道路整備事業 ・工事、用地買収、補償等 駐車場、駐輪場、バスバース整備事業 ・工事、用地買収 亀山駅周辺まち協支援業務		
事業費	計画額	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(補償等) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線](補償等) ○市道御幸7号線道路整備事業 ・用地測量、補償算定 ○市道御幸1・6号線道路整備事業 ・詳細設計、用地測量 ○亀山駅周辺まち協支援業務	○2ブロック地区市街地再開発事業 ・補助金(除却・解体、共同施設整備) ・公共施設管理者負担金 [駅前広場、亀山駅前線] (補償、工事) ○市道御幸1・6・7号線整備事業 ・用地買収、建物等補償 ○亀山駅周辺まち協支援業務 ○費用便益分析業務	事業費 399,400千円 国庫支出金 175,340千円 県支出金 地方債 150,400千円 その他 一般財源 73,660千円	事業費 1,011,900千円 国庫支出金 500,890千円 県支出金 地方債 409,000千円 その他 一般財源 102,010千円	事業費 1,576,000千円 国庫支出金 775,570千円 県支出金 地方債 667,800千円 その他 一般財源 132,630千円	
	予算額	事業費 1,506,935千円 国庫支出金 769,147千円 県支出金 地方債 490,750千円 その他 一般財源 247,038千円	事業費 657,506千円 国庫支出金 301,142千円 県支出金 地方債 232,400千円 その他 一般財源 123,964千円	事業費 1,461,644千円 国庫支出金 769,147千円 県支出金 地方債 490,750千円 その他 一般財源 201,747千円	事業費 632,919千円 国庫支出金 297,568千円 県支出金 地方債 230,500千円 その他 一般財源 104,851千円	事業費 0千円 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 0千円	
人件費	決算額	総人件費 31,396千円 一般職員 31,396千円 所要人員 4.00 会計年度任用職員等 0千円	総人件費 39,195千円 一般職員 39,195千円 所要人員 5.00 会計年度任用職員等 0千円	総人件費 0千円 一般職員 所要人員 会計年度任用職員等 0千円	総人件費 0千円 一般職員 所要人員 会計年度任用職員等 0千円	総人件費 0千円 一般職員 所要人員 会計年度任用職員等 0千円	
	総コスト(+)	1,493,040千円	672,114千円	0千円	0千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称 事業進捗状況(2ブロック) 2ブロック市街地再開発事業の進捗状況	活動 計画値	権利変換計画認可	2ブロック施設建築物着工	
		実績値	権利変換計画認可	2ブロック施設建築物着工	
		単位			
	名称 事業進捗状況(市道御幸7号線) 市道御幸7号線道路整備事業の進捗状況	活動 計画値	用地測量補償算定	用地買収建物等補償	用地買収、建物等補償、工事
		実績値	用地測量、補償算定	用地買収、建物等補償	
		単位			
	名称 事業進捗状況(市道御幸1・6号線) 市道御幸1・6号線道路整備事業の進捗状況	活動 計画値	詳細設計用地測量	用地買収建物等補償	用地買収、建物等補償、工事
		実績値	詳細設計、用地測量	用地買収	
		単位			

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や工事等実施など、組合への支援を継続して行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、プロジェクトチームを通して道路等の公共施設の考え方についても具体的に整理していく。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>組合やコンサルタント、施工予定者との協議を適宜実施することで、解体除却工事、施設建築物新築工事、公共施設工事に着工することができた。また、亀山駅周辺まちづくり協議会の役員会(2回)やブロック会議(各2回)を実施するとともに、プロジェクトチームにおいて計画の検討を行った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>組合に対する支援を実施することで、6月に解体除却工事、7月に公共施設工事、8月に施設建築物新築工事の契約を締結することができたが、当初の想定より契約日時が遅延したことから、当該年度実施予定の工事内容を全て完了することはできなかった。一方で、工事に着手したことから、補助金の交付決定や工事に関する前払金の支払い等を年度内に完了した。また、1・3・4ブロック道路(市道御幸1・6・7号線)の用地買収や補償等については、国の交付金の予算内示に沿った補償等契約を計画通りに実施できた。</p>	B まずまず実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>工事等の契約や市街地再開発事業等の補助金の交付決定等、駅周辺のにぎわいや活性化に向け、事業を推進することができた。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>既存建物の解体除却や施設建築物、公共施設の工事に着手したことから、工事が早期完了できるよう、組合への支援を継続していく必要がある。また、亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、令和2年度に実施した事業者等への需要調査の結果を踏まえ、1～4ブロック及び周辺地域における整備計画を権利者等とともに整理する必要がある。さらには、事業内容や進捗状況について、市及び組合のホームページ等を活用し、積極的に情報発信を行っていく必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>組合や事業推進コーディネータと密に連携を図るとともに、組合員との協議や工事等実施など、組合への支援を継続して行っていく。亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を密に行うとともに、プロジェクトチームを通して1～4ブロック及び周辺地域と連携した具体的な整備方法についても具体的に整理していく。また、組合等と連携し、市及び組合ホームページ等を活用した情報発信を随時行っていく。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>本事業による市街地再開発事業の実施や公共施設の整備により、本市の中心的都市拠点である亀山駅周辺の利便性と安全性が向上するとともに、にぎわいの創出が図られる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備グループリーダー 藤尾 春樹
【最終評価者】	産業建設部 都市整備課長 田所 学

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	
	成果	B	B	B	B	

		令和2年度予算額(事業費)の内訳
内訳	予算額(事業費)	657,506 千円
	令和元年度からの繰越額	370,181 千円
	令和2年度の最終予算額	1,009,800 千円
	令和3年度への繰越額	722,475 千円